



2018年度 第2四半期決算

2018年11月9日
古河電池株式会社

東証一部 証券コード：6937

Contents

1.	18年度 第2四半期決算総括
2.	セグメント別の状況
3.	18年度 業績予想
Appendix	

18年度 第2四半期(累計) 決算ハイライト

連結業績

国内外での自動車用電池の販売好調により増収。営業利益は、物流コストの上昇や産業分野での製品構成の変化による原価率上昇により減少

売上高：	28,182百万円	前年同期比	7.4% (1,935百万円) 増
営業利益：	314百万円	前年同期比	25.0% (104百万円) 減

■ 自動車事業

- 日本：
環境対応車用鉛蓄電池の
取り換え需要旺盛
- インドネシア(FIBM):
売上高は前年同期比
+46%



■ 産業事業

- 中国鉄道向けが好調
- 国内産業鉛(大型鉛)事業
は低調



■ 財務状況

- フリー・キャッシュフロー：
512百万円
- D/Eレシオ：
0.46倍、+0.01pt

連結決算概況

- 国内外での自動車用電池の販売好調により増収も、営業利益は、物流コストの上昇や産業分野での製品構成の変化による原価率上昇により減少
- 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、ベトナムの資本提携先からの受取配当金が増えたことや支払利息が減少したことなどにより増加

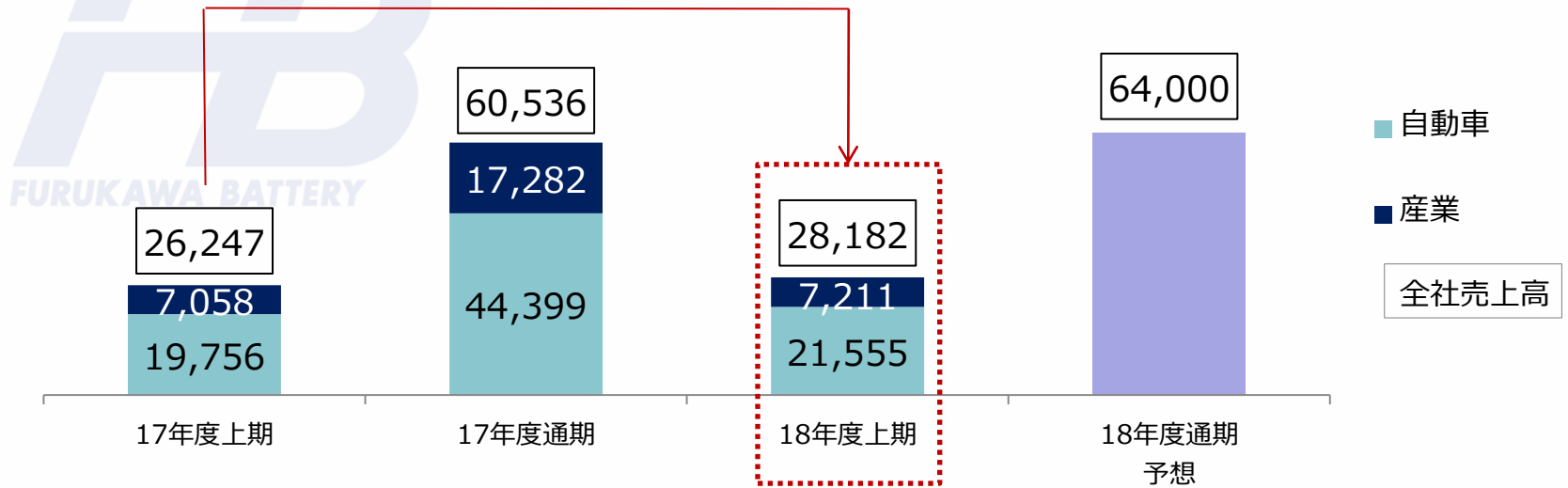
FURUKAWA BATTERY

(単位：百万円)	18年度 上期					17年度 上期	
	実績	対売上	業績予想 (期初)	業績予想差	前年同期差 (増減)	実績	対売上
売上高	28,182	100.0%	29,000	△ 817	1,935	26,247	100.0%
売上原価	22,484	79.8%	—	—	1,771	20,713	78.9%
売上総利益	5,698	20.2%	—	—	164	5,533	21.1%
販売費及び一般管理費	5,383	19.1%	—	—	268	5,114	19.5%
営業利益	314	1.1%	400	△ 85	△ 104	419	1.6%
経常利益	312	1.1%	250	62	95	216	0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335	1.2%	200	135	86	249	1.0%

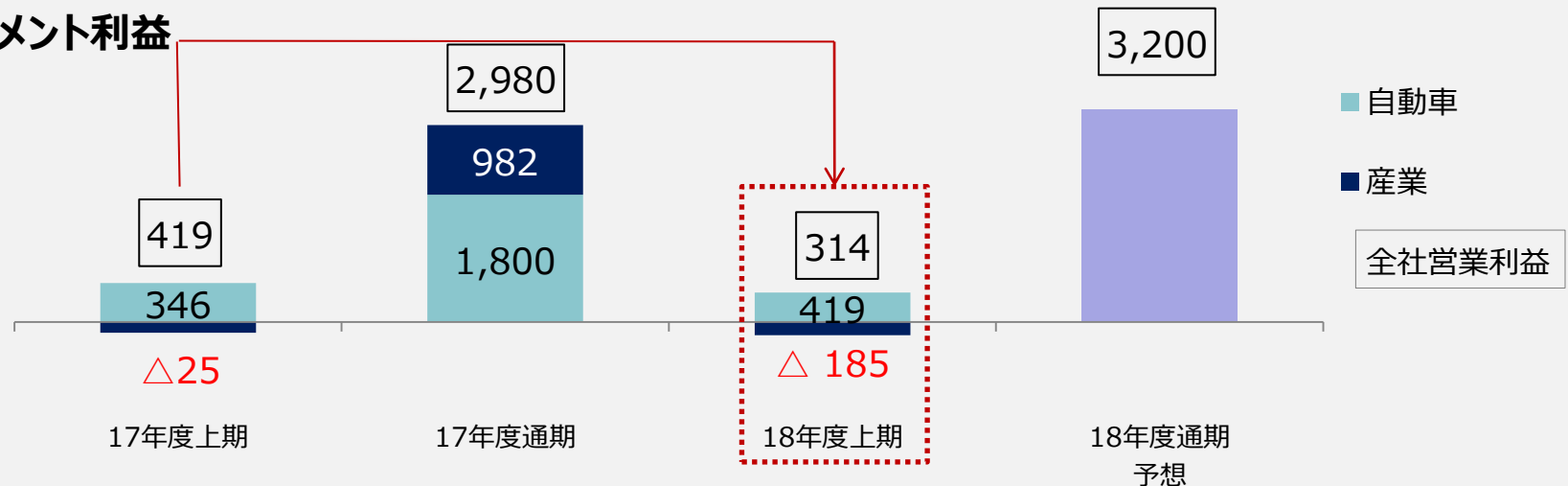
連結決算概況_セグメント別

■ セグメント別 売上高

(百万円)

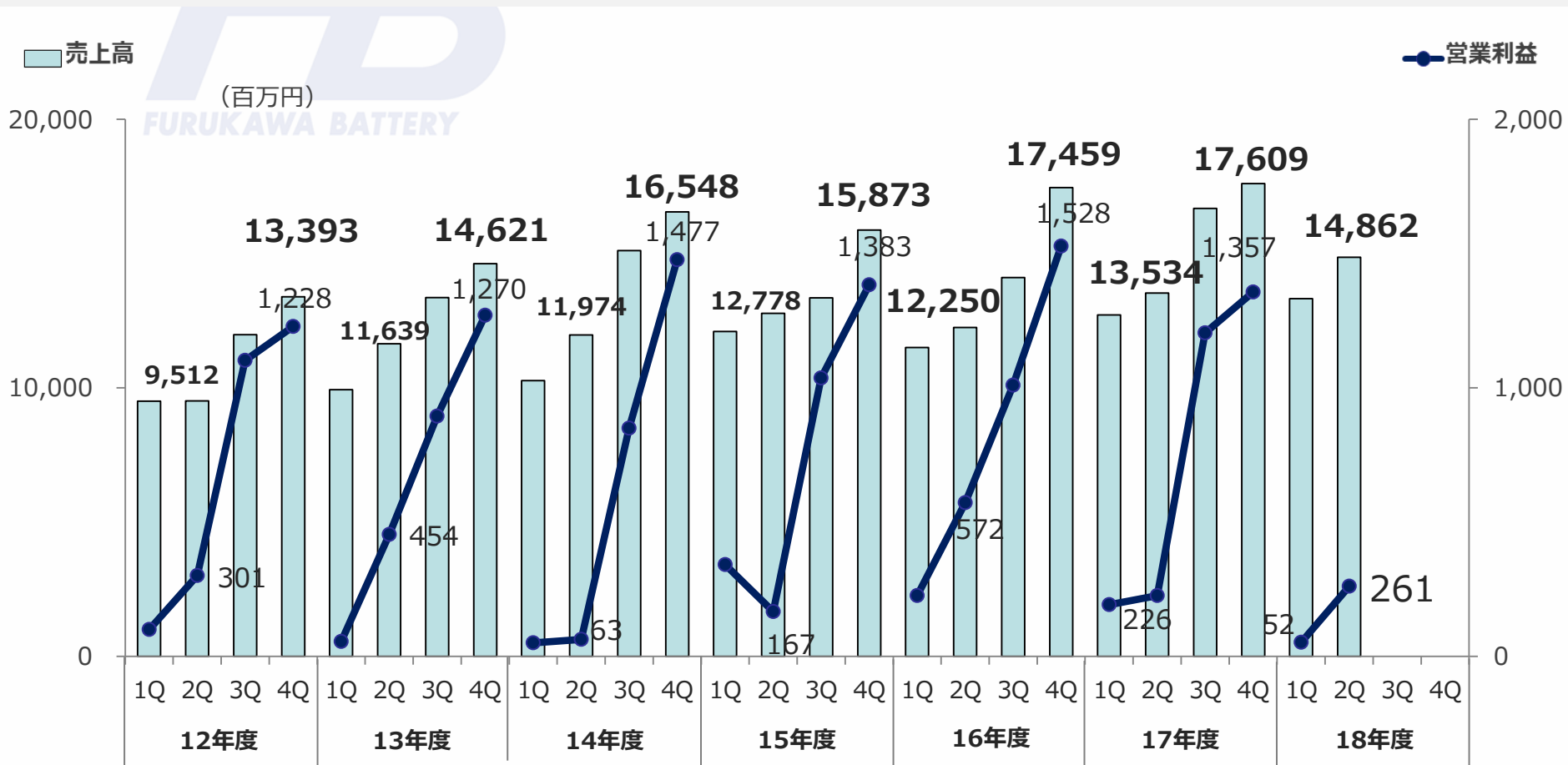


■ セグメント利益



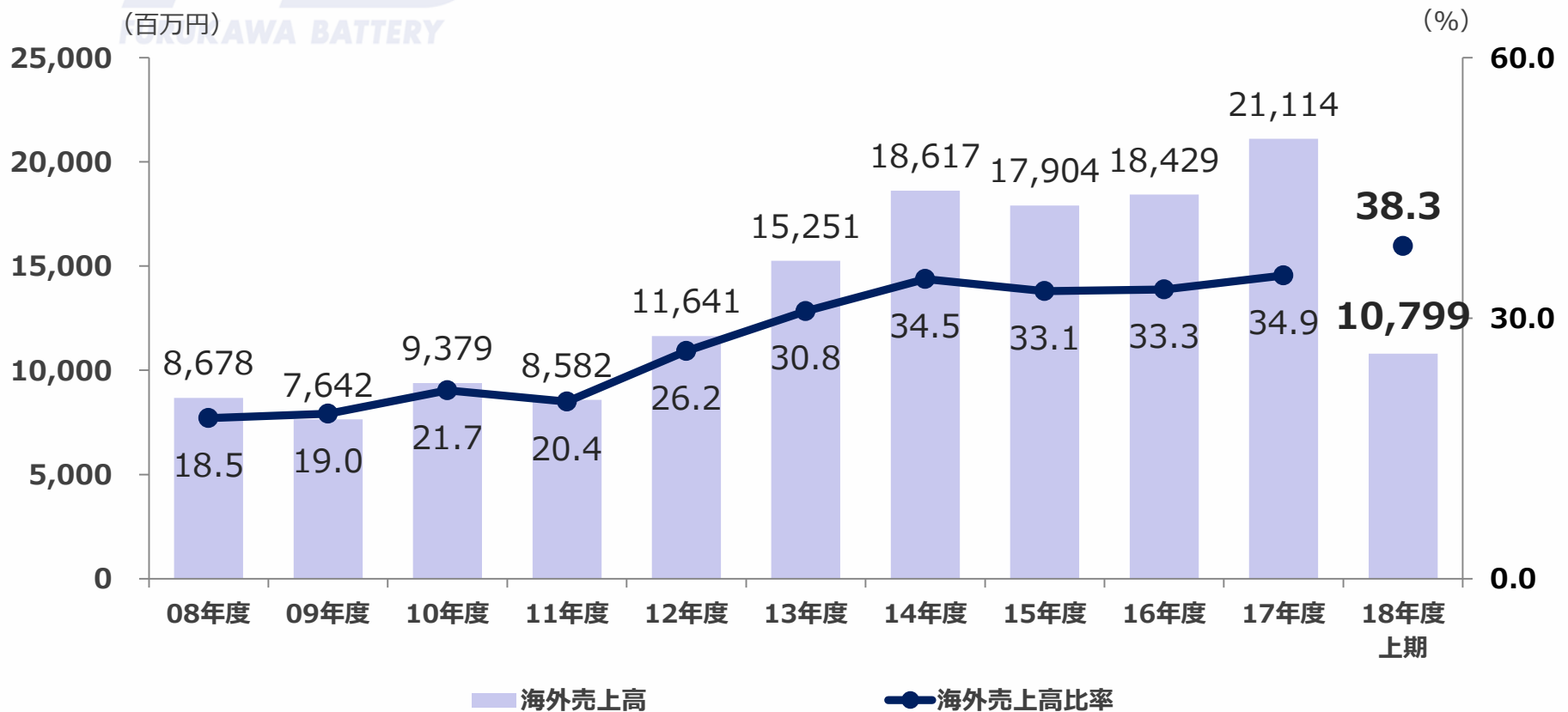
売上高・営業利益の推移_四半期

- 国内外での自動車用電池の販売好調により、1Q,2Qとも前年同期比増収
- 営業利益も自動車セグメントが牽引し、2Qは前年同期比上振れ



海外売上高

- 12年度ごろからのタイ子会社の安定化・事業拡大などにより、海外売上高は増加傾向
- さらなる海外売上高UPに向け、インドネシアFIBMの安定化・成長が急務



貸借対照表（2018.9末時点）

- たな卸資産は12億円増加、受取手形及び売掛金は回収進み17億円減少
- 有形固定資産は、大きな投資も無く、減価償却費により11億円減少

（百万円）

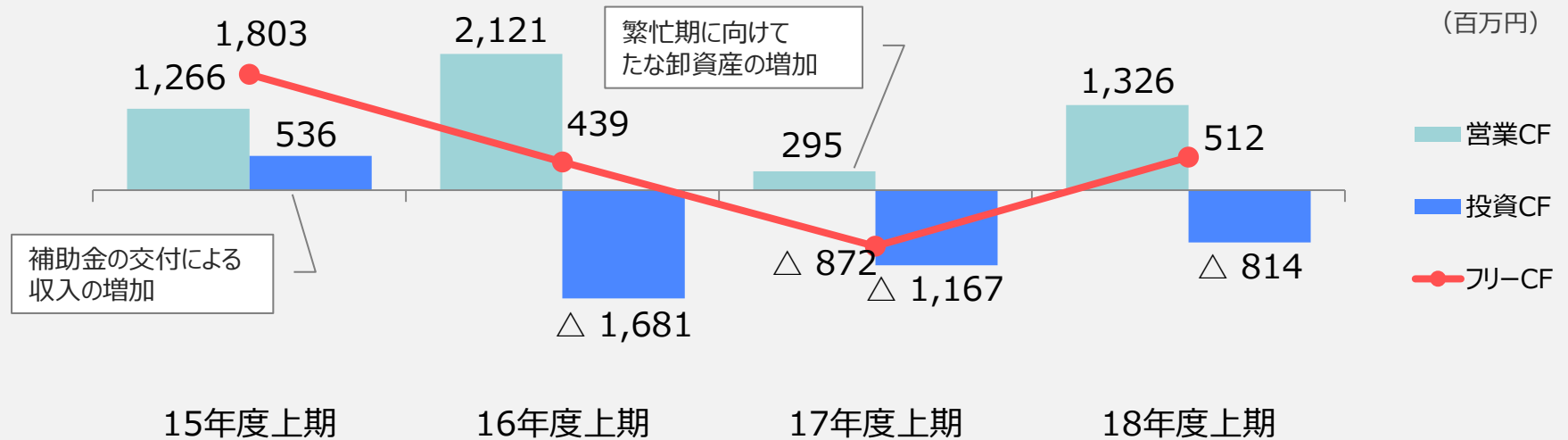
資産	18.3 末	18.9 末	増減額	負債・純資産	18.3 末	18.9 末	増減額
流動資産	24,787	24,234	△552	流動負債	14,198	15,647	+1,449
現金及び預金	4,194	4,456	+261	支払手形及び買掛金	6,348	6,424	+76
受取手形及び売掛金	12,369	10,622	△1,746	短期借入金	4,077	5,701	+1,623
たな卸資産	7,172	8,381	+1,208	固定負債	15,642	13,767	△1,875
固定資産	30,210	29,646	△564	長期借入金	6,459	4,794	△1,665
有形固定資産	24,854	23,765	△1,089	退職給付に係る負債	7,049	6,991	△58
無形固定資産	186	164	△22	純資産	25,156	24,466	△690
投資その他の資産	5,169	5,716	+546	利益剰余金	19,029	19,037	+7
資産合計	54,997	53,881	△1,116	負債純資産合計	54,997	53,881	△1,116

資本効率の向上

- 資産効率の向上、資本の有効利用、有利子負債の返済などにより、財務体質強化を図る

(単位：百万円)	18年3月末	18年9月末	前年度末比		17年9月末
			増減額	比率	
現金及び現金同等物	4,194	4,456	261	6.2%	3,048
有利子負債	10,537	10,495	△ 41	-0.4%	9,965
Net有利子負債	6,342	6,039	△ 302	-4.8%	6,917
資産合計	54,997	53,881	△ 1,116	-2.0%	52,722
自己資本	23,295	23,027	△ 267	-1.1%	21,120
自己資本比率	42.4%	42.7%	0.3pt	—	40.1%
D/Eレシオ（倍）	0.45	0.46	0.01pt	—	0.47
総資産経常利益率（ROA）	5.1%	—	—	—	—
自己資本利益率（ROE）	9.7%	—	—	—	—

キャッシュフローの状況



	17年度上期	18年度上期
営業活動によるCF	295	1,326
税金等調整前当期純利益	211	311
減価償却費	1,237	1,276
売上債権の増減額	2,071	1,672
たな卸資産の増減額	△2,195	△1,373
仕入債務の増減額	△190	94
法人税等の支払額	△710	△419
投資活動によるCF	△1,167	△814
有形固定資産の取得による支出	△1,198	△652
フリーCF	△872	512

	17年度上期	18年度上期
財務活動によるCF	△1,793	△169
短期借入金の純増減額	△1,882	1,054
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,181	△886
配当金の支払い額	△295	△327
非支配株主からの払込みによる収入	1,644	—
■ 現金及び現金同等物の増減額	△2,686	261
■ 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,048	4,456

Intentionally Blank

Contents

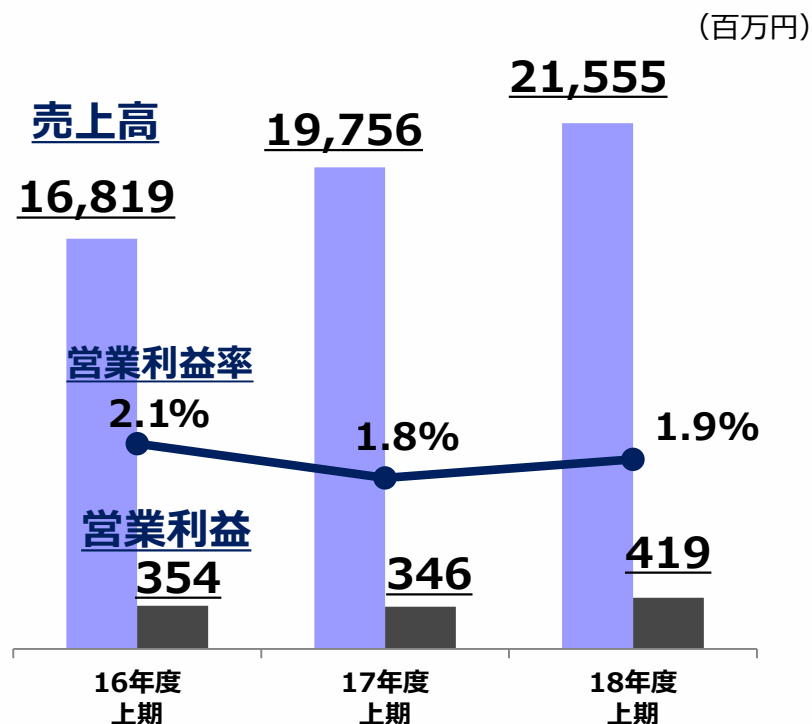
1.	18年度 第2四半期決算総括
2.	セグメント別の状況
3.	18年度 業績予想
Appendix	

自動車セグメント 決算概況

自動車 セグメント

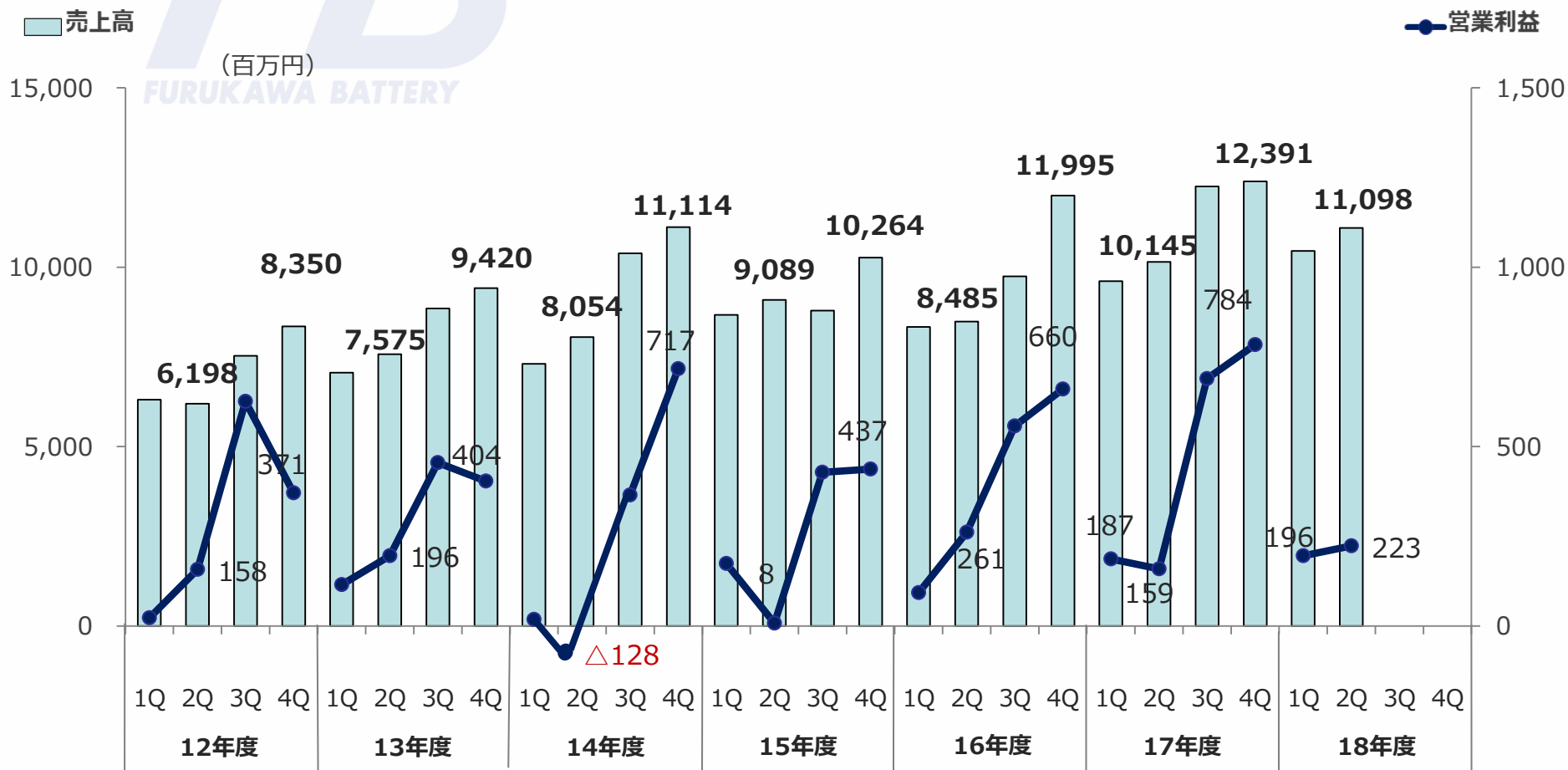
国内外における自動車用電池の販売が好調に推移したことなどにより増収増益

売上高：	21,555 百万円	前年同期比	9.1% （1,798百万円）増
営業利益：	419 百万円	前年同期比	21.1% （73百万円）増



自動車セグメント 決算概況_四半期

■ 国内外における自動車用電池の販売が好調に推移したことなどにより、1Q,2Qとも前年同期比増収増益

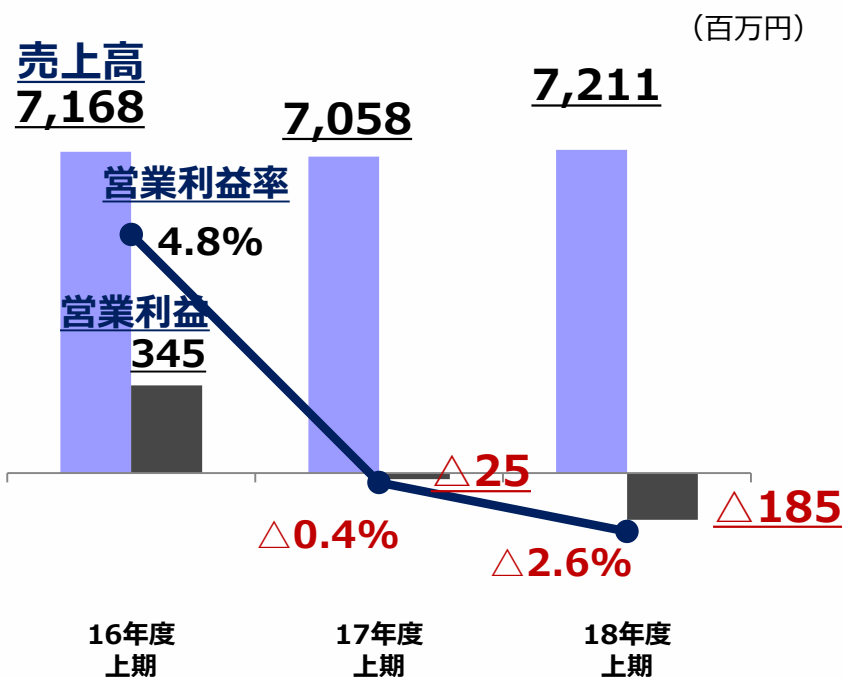


産業セグメント 決算概況

産業 セグメント

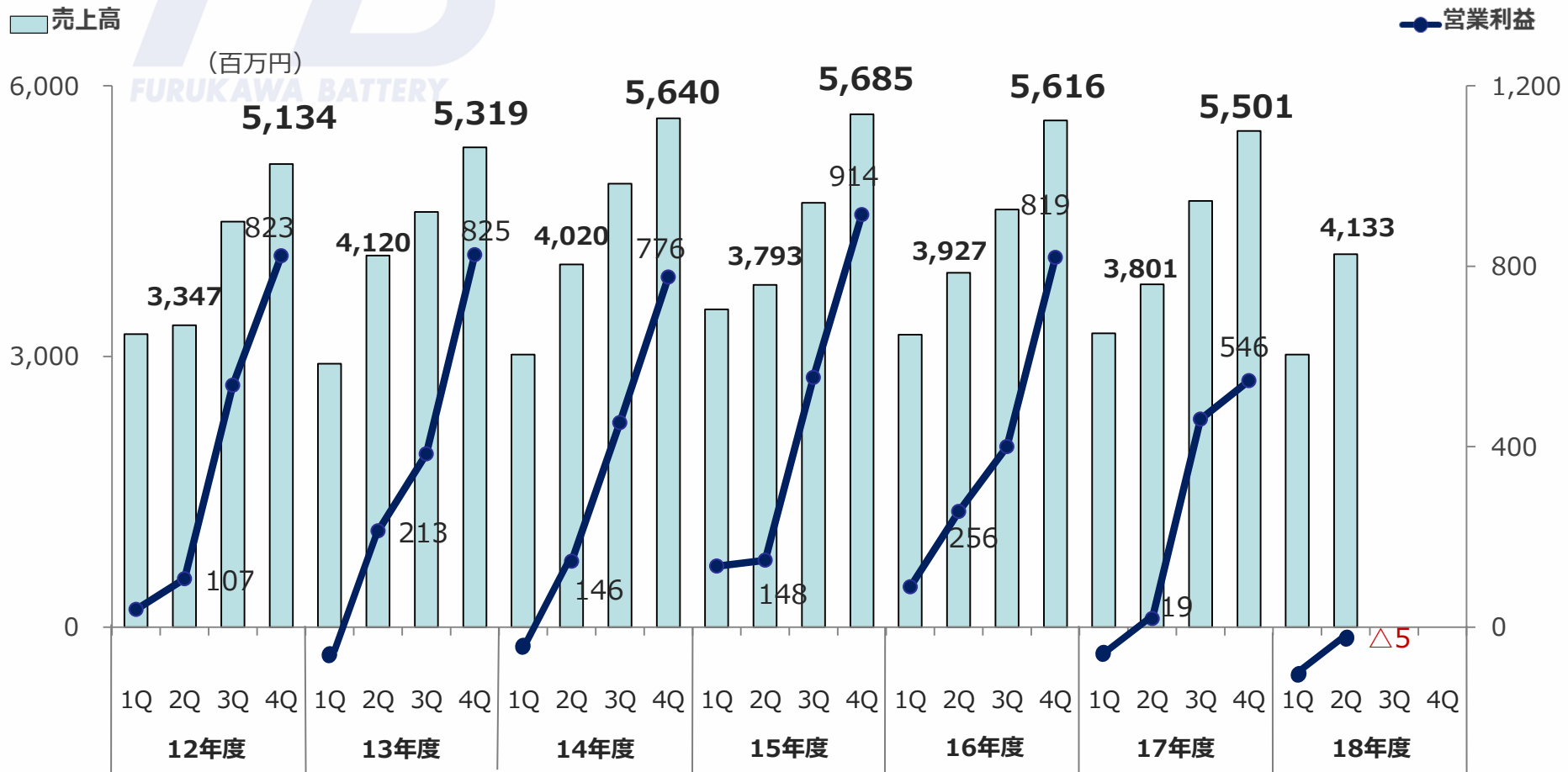
売上高は微増も、物流コストの上昇や製品構成の変化による原価率上昇などにより減益

売上高：	7,211 百万円	前年同期比	2.2%（152百万円）増
営業利益：	△185 百万円	前年同期比	640%（160百万円）減



産業セグメント 決算概況_四半期

■ 産業鉛(大型鉛)事業は低調であるものの、中国鉄道向け好調などで2Qは前年同期比増収



Intentionally Blank

Contents

1.	18年度 第2四半期決算総括
2.	セグメント別の状況
3.	18年度 業績予想
Appendix	

18年度 業績予想

- 予想値（売上高 640億円、営業利益 32億円）は据え置き
- 国内自動車事業の堅調な推移に加え、産業事業とタイSFCの増収増益が業績牽引

FURUKAWA BATTERY

(百万円)

	17年度 実績			18年度			増減額 (b-a)	増減率
				実績	予想			
	上期	下期	通期(a)	上期	下期	通期(b)		
売上高	26,247	34,289	60,536	28,182	35,817	64,000	+3,463	+5.7%
営業利益	419	2,561	2,980	314	2,885	3,200	+219	+7.4%
経常利益	216	2,594	2,810	312	2,687	3,000	+189	+6.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	249	1,887	2,136	335	1,864	2,200	+63	+3.0%
海外売上高比率	37.5%	32.9%	34.9%	38.3%	—	40.0%		

為替レート

- ・17年度（期末） 1パーツ=3.45円 100インドネシアルピア=0.84円
- ・18年度（前提） 1パーツ=3.30円 100インドネシアルピア=0.85円

鉛建値

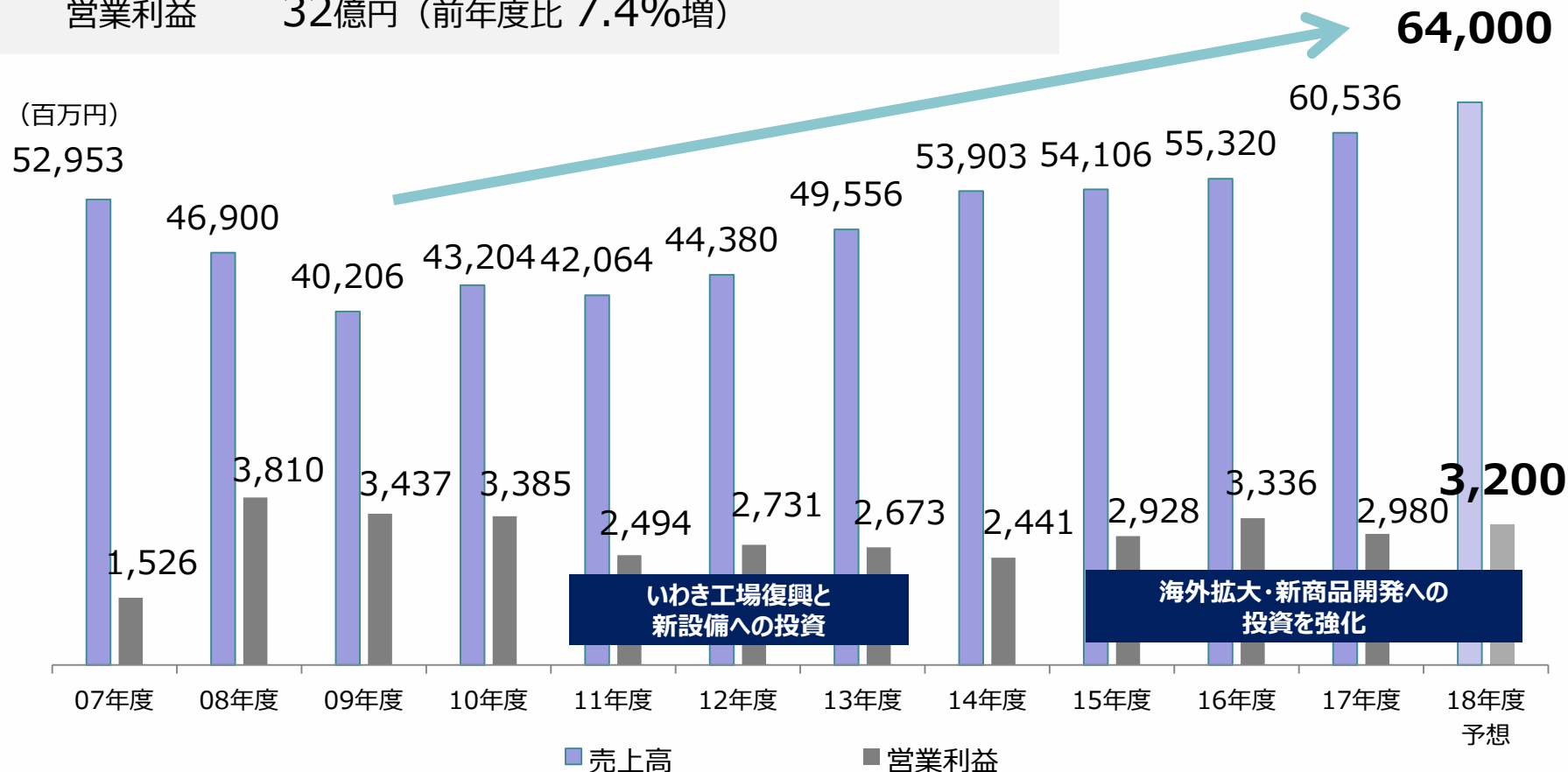
- ・17年度（平均） 323.5千円/t
- ・18年度（前提） 295.0千円/t

18年度 業績予想_業績の推移

次なる成長に向け、**海外拡大**と**新商品開発**への投資を強化

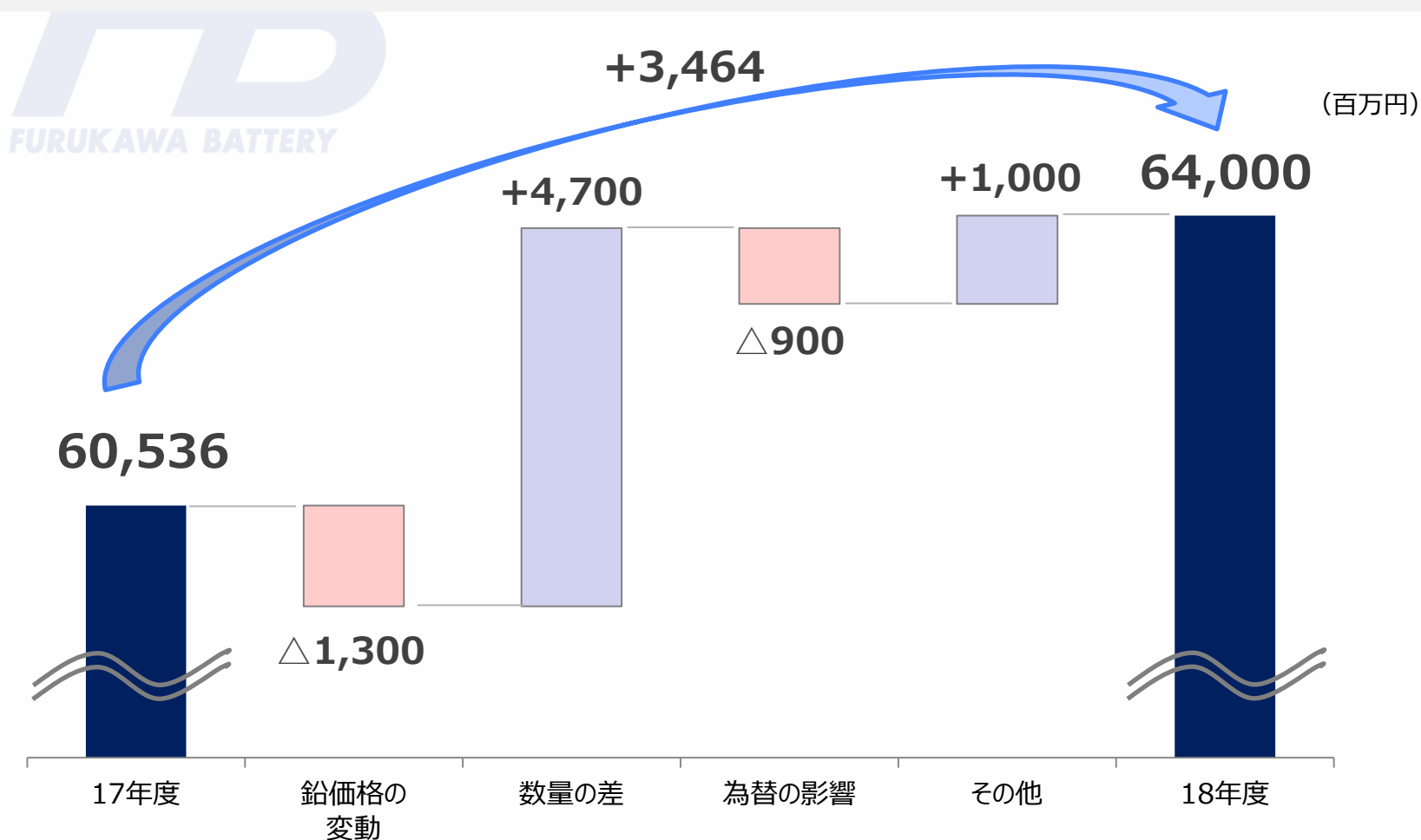
売上高 640億円（前年度比 5.7%増）

営業利益 32億円（前年度比 7.4%増）



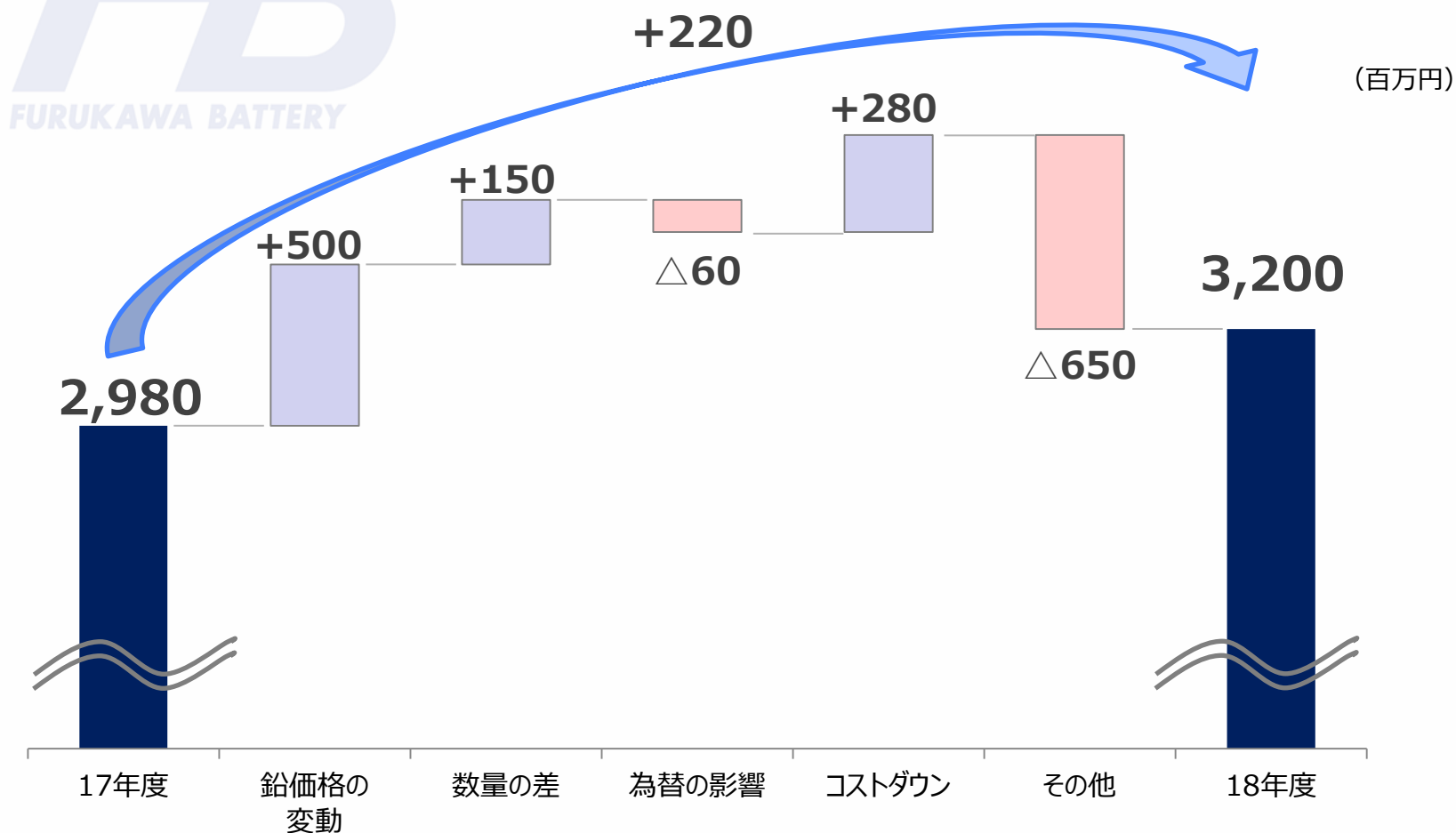
18年度 業績予想_売上高 増減分析

- 主に国内外での数量の増により増収予想



18年度 業績予想_営業利益 増減分析

- 主に国内外での数量の増、コストダウンにより増益予想



株主還元

- 今後の持続的な成長のため、国内外での投資と株主に対する利益還元のバランスを重視
- まずは18年度業績目標を達成し、次期中計以降、事業拡大を図ることで、安定的な株主還元を継続

FURUKAWA BATTERY

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度 (予想)
ROE (%)	11.1	13.4	12.2	9.7	9.1
1株当たり配当金 (円)	7.00	8.00	9.00	10.00	11.00
配当金総額 (百万円)	229	262	295	327	360
配当性向 (%)	13.1	11.1	12.4	15.3	16.4

Contents

1.	18年度 第2四半期決算総括
----	----------------

2.	セグメント別の状況
----	-----------

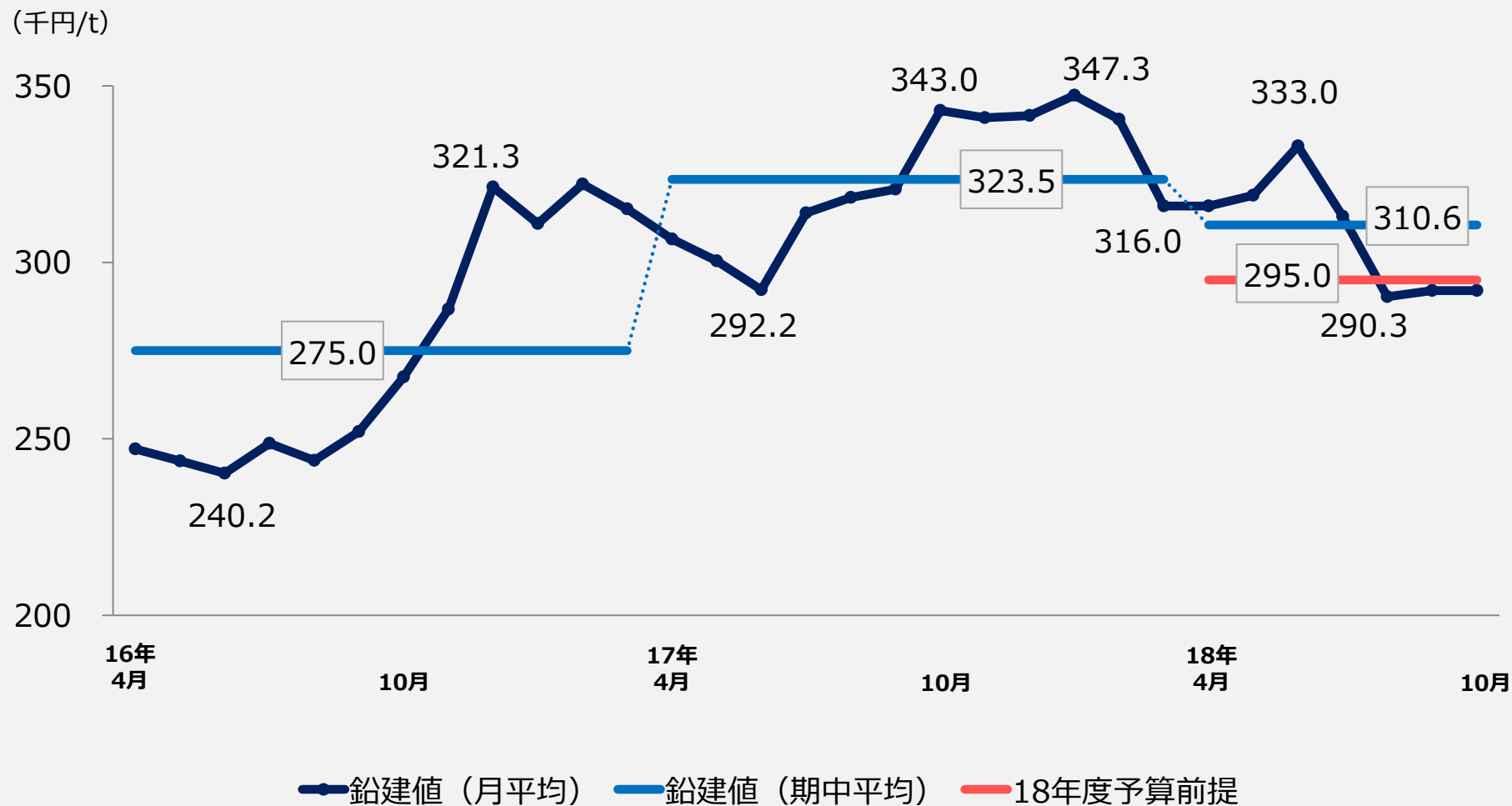
3.	18年度 業績予想
----	-----------

Appendix

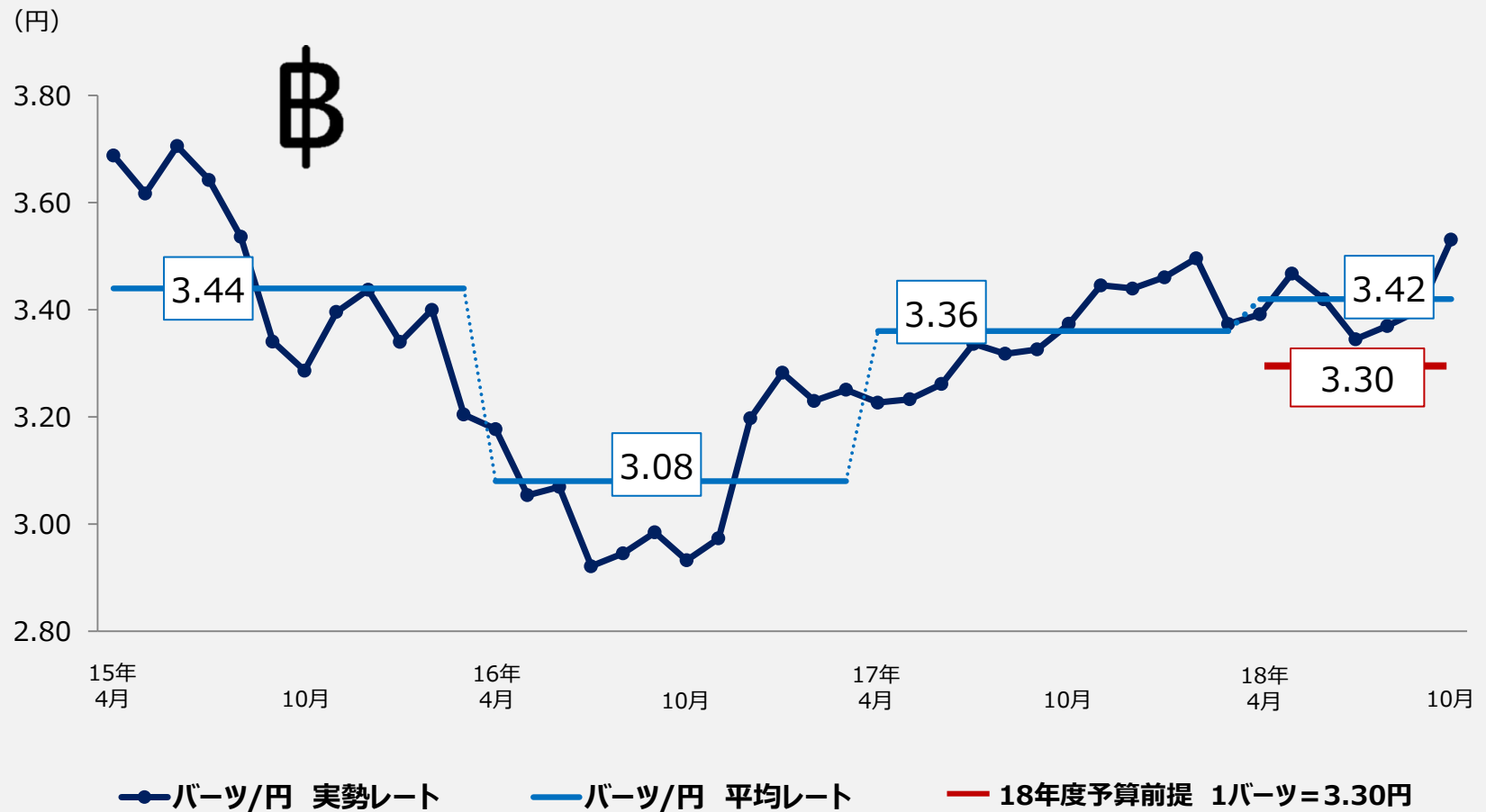
鉛建値推移 (07~18年度上期)



鉛建値推移 (16年4月~18年10月)

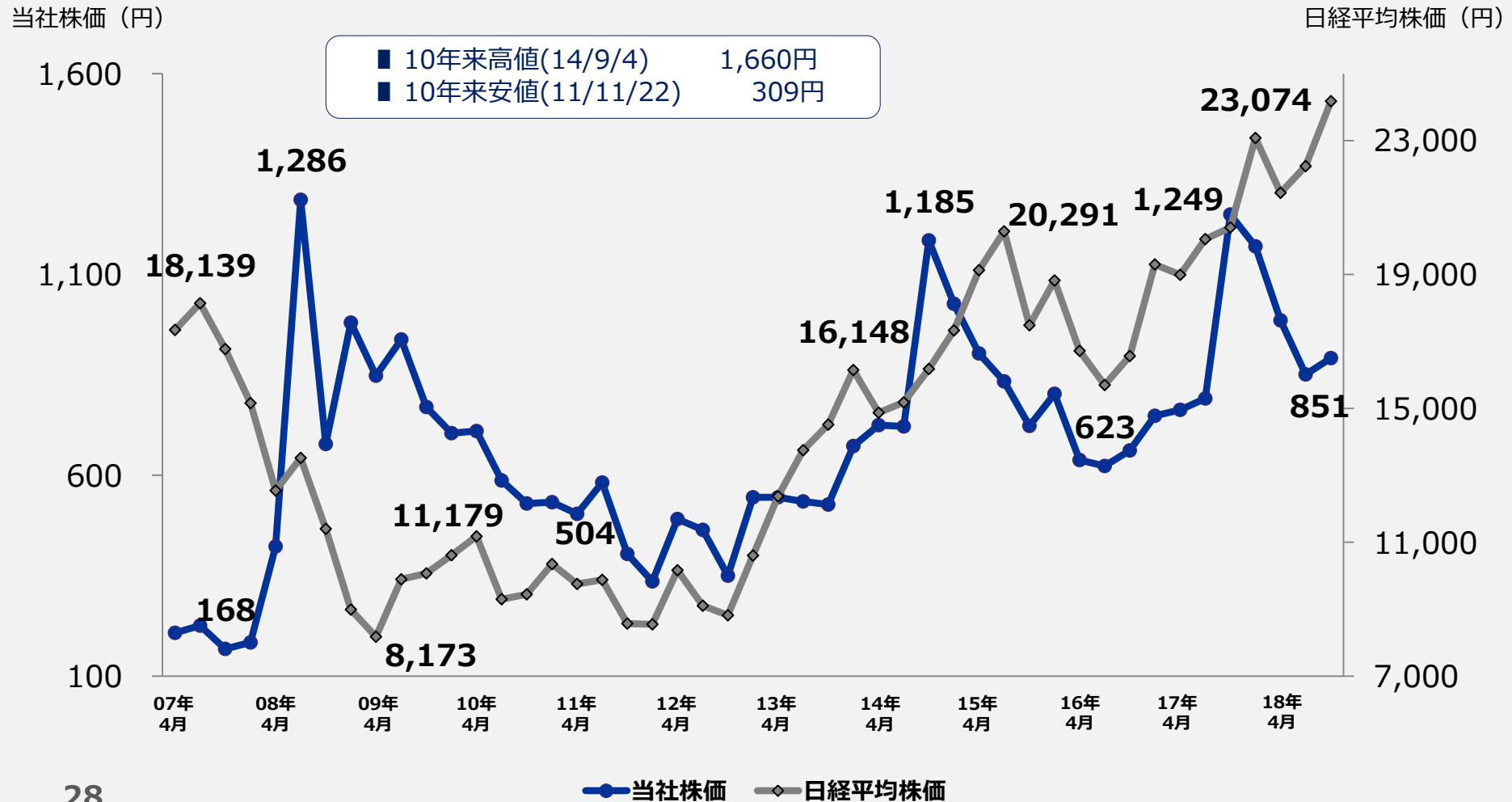


為替レートの推移



株価推移

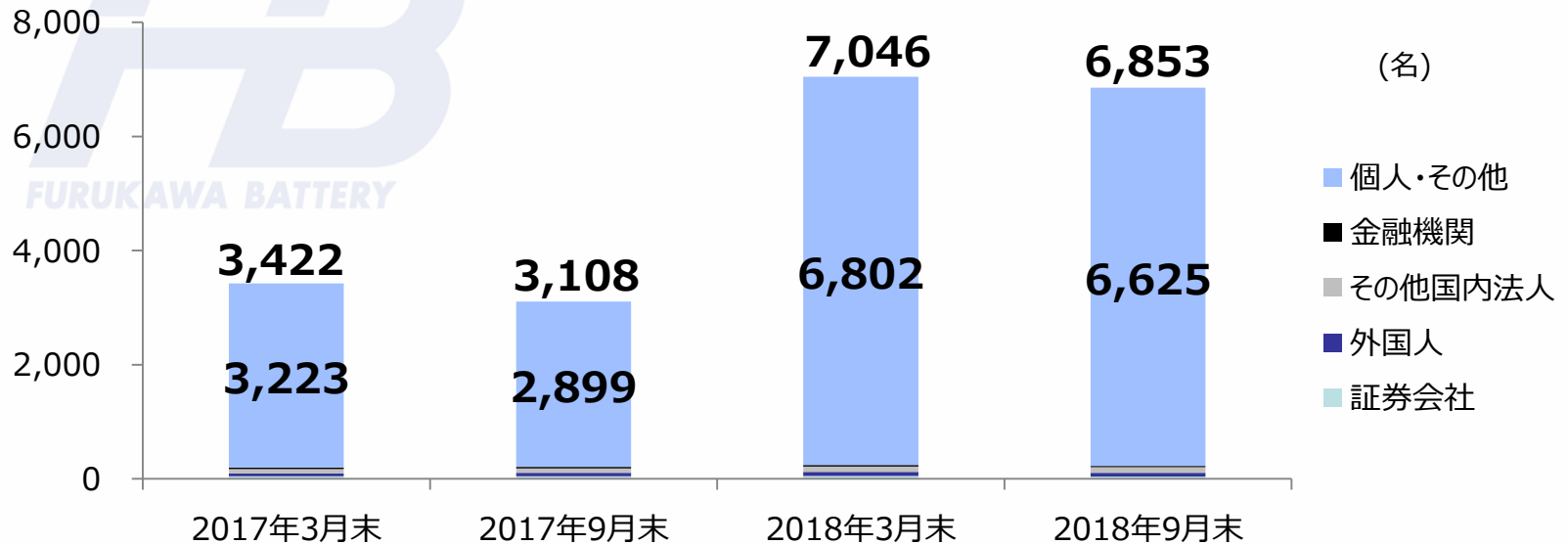
■ 2017.10.1より単元株式数を1,000株から100株に変更



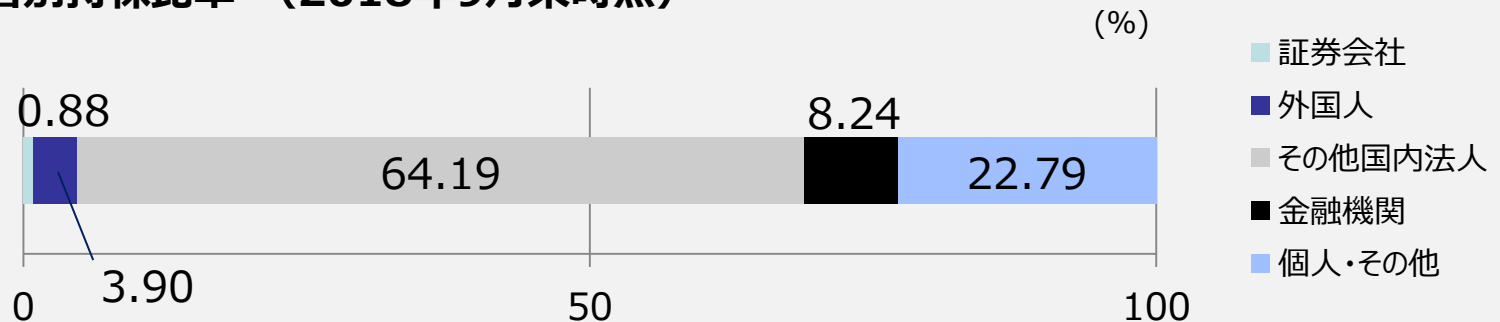
株式情報

株主数*の推移

*自己名義株式除く



所有者別持株比率*（2018年9月末時点）

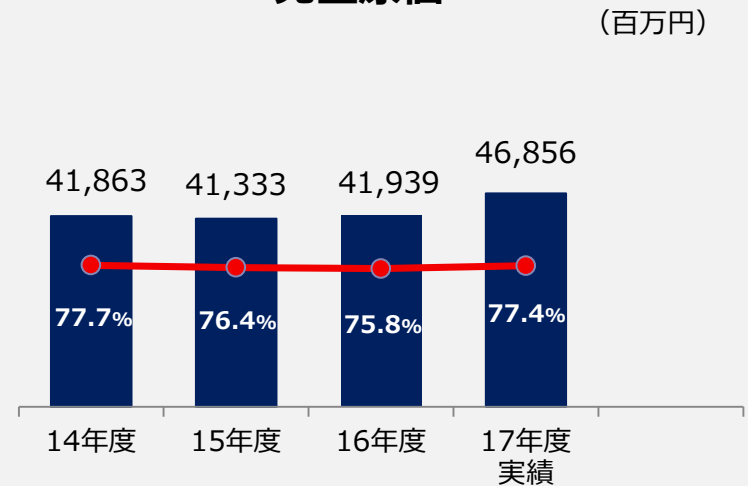


業績データ①

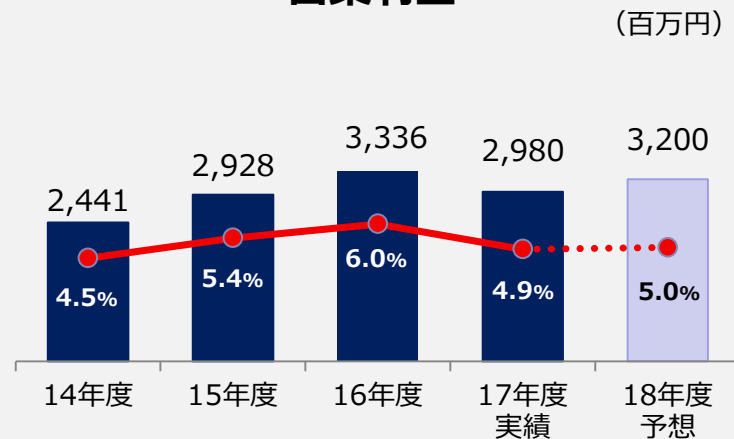
売上高



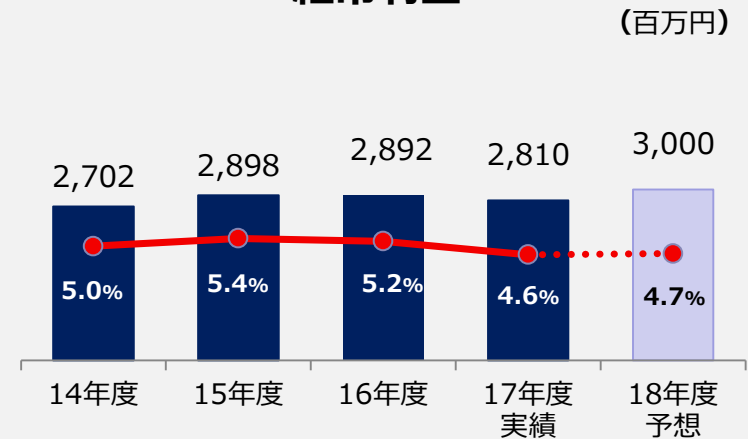
売上原価



営業利益



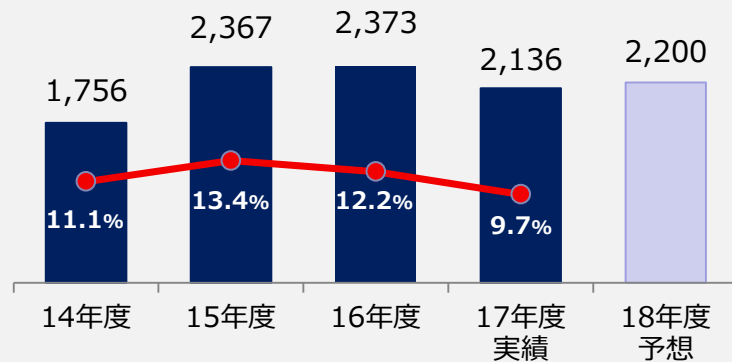
経常利益



業績データ②

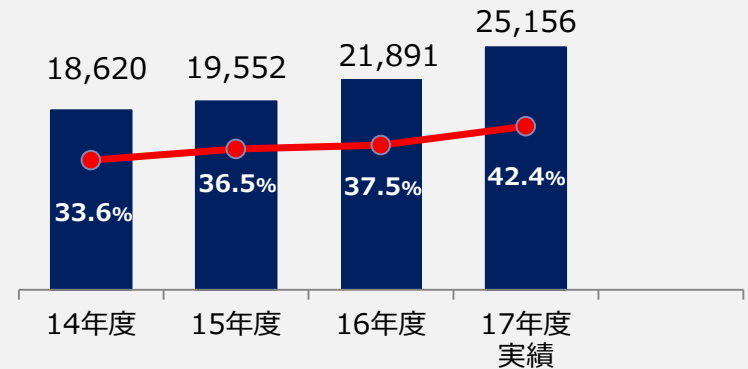
親会社株主に帰属する当期純利益・ROE

(百万円)



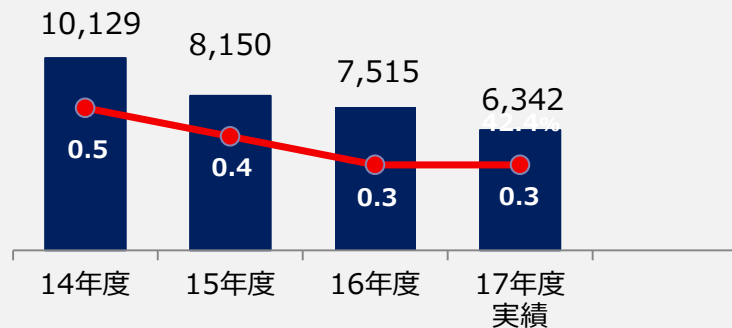
純資産・自己資本比率

(百万円)



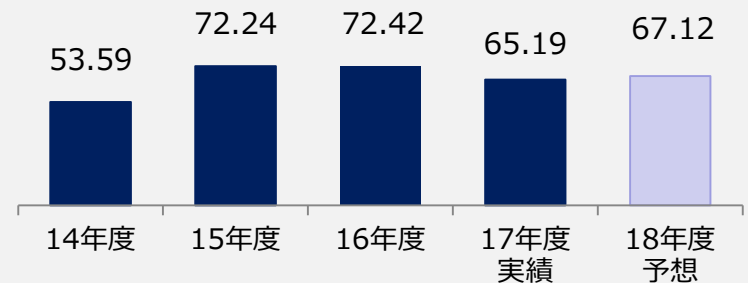
ネット有利子負債・ネットD/Eレシオ

(百万円)



1株当たり当期純利益

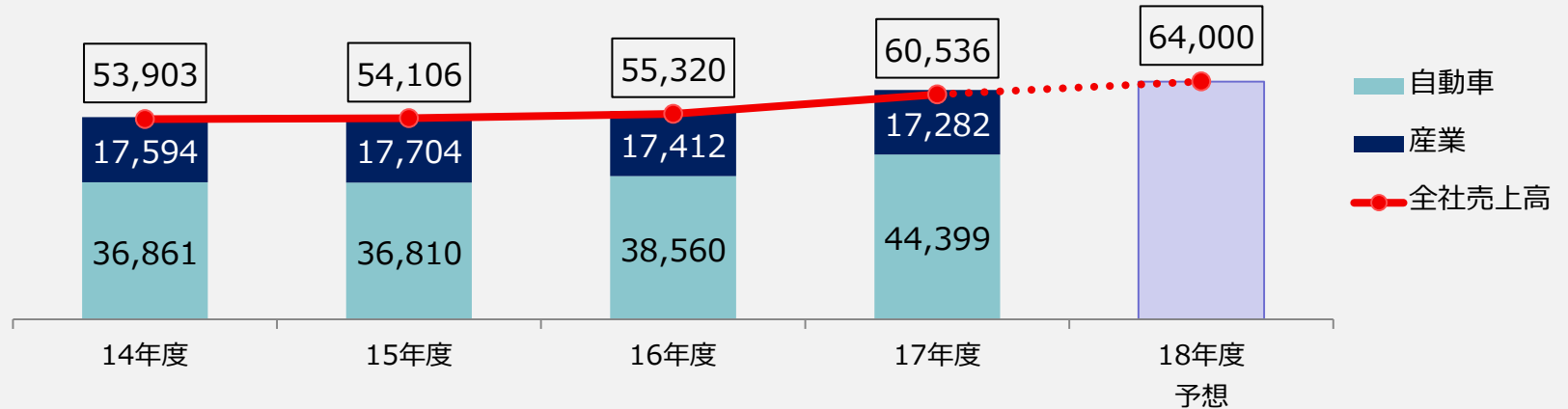
(円)



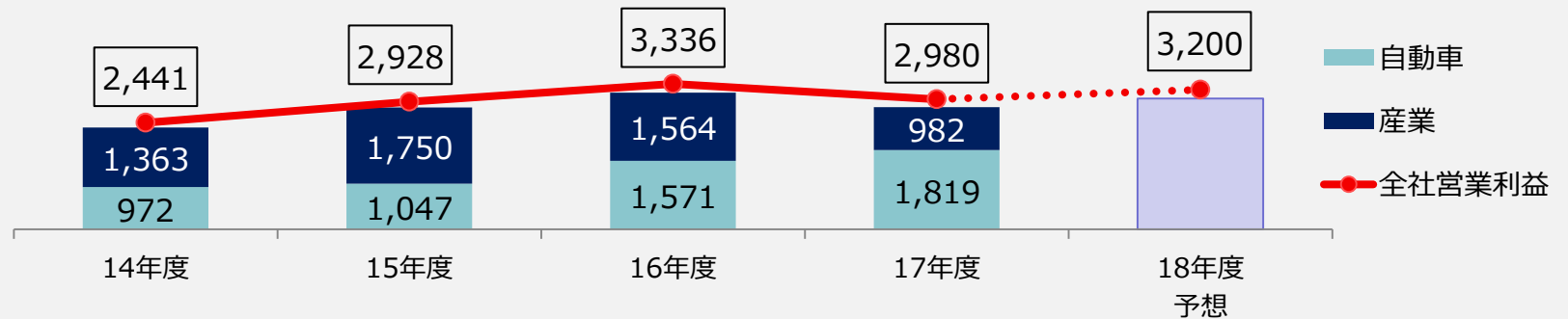
業績データ③

セグメント別 売上高の推移

(百万円)



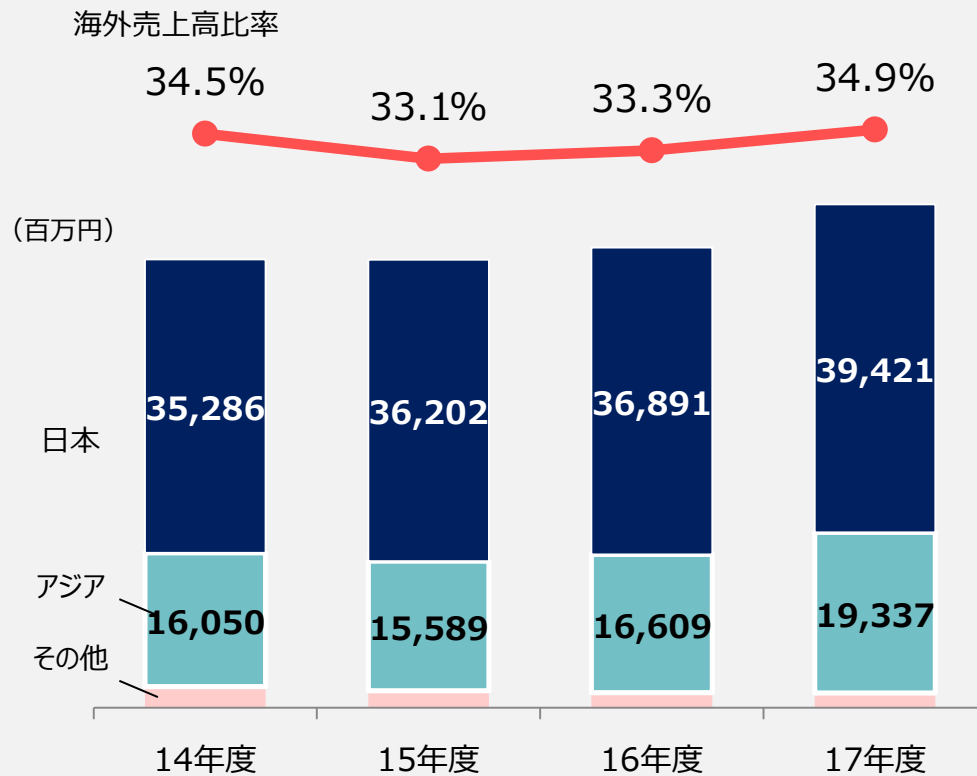
セグメント利益の推移



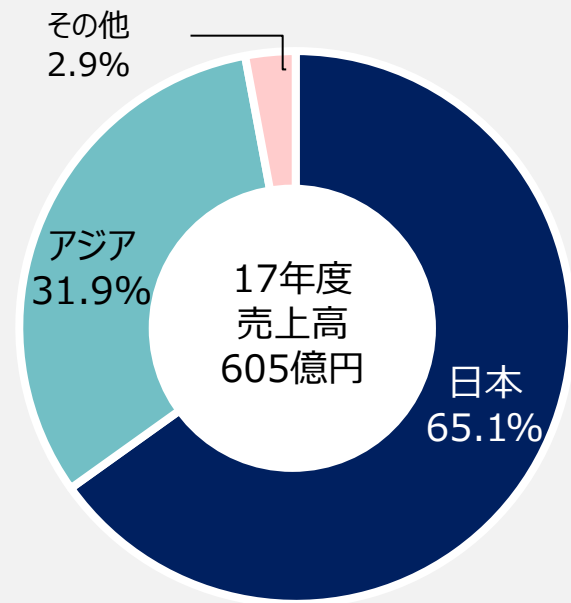
* セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含みます。
セグメント利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値です。

業績データ④

■ 地域別売上高



地域別売上高比率



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

鉛蓄電池市場 グローバルシェア

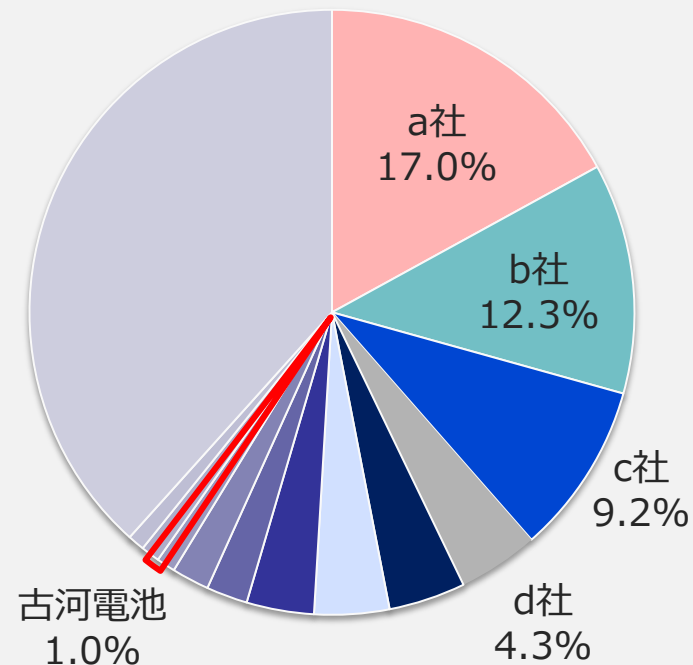
■ 生産金額ベース

(億円)

		2016年 実績	シェア
1	A社	5,160	13.9 %
2	B社	2,790	7.5 %
3	C社	2,700	7.2 %
4	D社	1,900	5.1 %
5	E社	1,520	4.1 %
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
10	古河電池 FB	360	1.0 %
	その他	18,200	48.9 %
	合計	37,250	100.0 %

■ 生産数量ベース

※ 2016年実績



* 出典：富士経済「2017 電池関連市場実態総調査 上巻」

将来情報についての注意事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しており、主要なものとして以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・為替相場の変動による影響
- ・主要製品に使用される原材料の価格変動
- ・海外における政治的および社会的リスク
- ・取引先の業績悪化等
- ・自然災害の影響

なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。年度表記について、17年度は2018年3月期、18年度は2019年3月期（以下同様）を表しています。